

がん患者の

診かた・接し方

病棟・外来の最前線でできること

副作用・合併症・急性症状に対応する、
納得の緩和ケアを目指し、家族とも適切に対話する

序	山内照夫	3 (1951)
Color Atlas		8 (1956)

第1章 がん薬物療法の基本と最新知識

1. 診断と治療の基本

①がん薬物療法の基礎知識	東 光久	10 (1958)
1. 準備段階 2. がん薬物療法		
②原発不明がんの診断と治療	公平 誠	20 (1968)
1. 原発不明がんの定義 2. 原発不明がんの疫学 3. 原発不明がんの診断 4. 原発不明がんの治療 ● Advanced Lecture		

2. 最新のがん治療

①免疫チェックポイント阻害薬の適応と副作用管理	北野滋久	27 (1975)
1. 免疫チェックポイント阻害薬の適応 2. 免疫チェックポイント阻害薬の副作用管理		
②がん遺伝子パネル検査を用いた「個別化医療」	小山隆文	39 (1987)
1 検査概要 2. がん遺伝子パネル検査の適応 3. がん遺伝子パネル検査の結果に基づいた治療 ● Advanced Lecture : 早期薬剤開発とがん遺伝子パネルの関係性		

第2章 がん薬物療法の副作用・合併症への対応

1. 骨髄抑制矢崎 秀 50 (1998)
 1. 好中球減少 2. 貧血 3. 血小板減少 ● Advanced Lecture : dose-dense chemotherapy について
2. がんと感染症石川和宏, 森 信好 60 (2008)
 1. がん患者の免疫不全の4つのカテゴリー 2. 発熱性好中球減少症のマネジメント 3. 血管内カテーテル感染 4. 固形がんと感染症 ● Advanced Lecture : がん患者とCD 腸炎
3. がん薬物療法中の悪心・嘔吐名取亜希奈 68 (2016)
 1. 診断 2. 治療 ● Advanced Lecture : 医療用大麻って効果あるの？
4. 口腔粘膜炎永野悦子 78 (2026)
 1. 疫学 2. 予防 3. 治療 4. 疼痛緩和 ● Advanced Lecture : グルタミン, 亜鉛
5. 下痢酒井 瞳 89 (2037)
 1. 下痢を起こしやすいがん薬物療法 2. 下痢の患者の診察 3. がん薬物療法による下痢の治療
6. 肺障害西條康夫 95 (2043)
 1. 肺障害の基礎知識 2. 肺障害各論

第3章 がん患者の急性症状への対応

1. オンコロジック・エマージェンシーへの対応
 - ①脊髄圧迫安田武洋 106 (2054)
 1. 脊髄圧迫の診断 2. 脊髄圧迫の治療 ● Advanced Lecture : 外科的治療のエビデンスについて
 - ②上大静脈症候群山中太郎, 尾崎由記範, 高野利実 115 (2063)
 1. 疫学 2. 診断 3. 治療 4. まとめ
 - ③脳転移・頭蓋内圧亢進症山内照夫 124 (2072)
 1. 疫学 2. 症候・所見 3. 診断 4. 治療 ● Advanced Lecture : 全脳照射による認知機能低下の軽減方法
 - ④高カルシウム血症藤井健夫 131 (2079)
 1. 疫学 2. メカニズム 3. 診断 4. アセスメント 5. 治療

- ⑤腫瘍崩壊症候群……………杉本由香 138 (2086)
1. 診断
 2. 発症リスクの予測
 3. TLSの予防
 4. TLS発症の有無のモニタリング
 5. 発症したLTLS, CTLSに対する治療
- Advanced Lecture：TLS予防に尿のアルカリ化をするよう上級医から言われたが…

2. がん性漿膜炎への対応

- ①がん性胸膜炎……………土井美帆子 146 (2094)
1. がん患者に胸水貯留を認めたとき、何を考えるか？
 2. 確定診断のための胸腔穿刺
 3. ドレナージの方法と胸膜癒着術の適応
- ②がん性腹膜炎……………安次嶺宏哉, 大山 優 153 (2101)
1. 臨床像と疫学
 2. 診断と検査
 3. 治療と専門医紹介のタイミング
 4. 緩和ケアと予後
- Advanced Lecture：悪性腹水患者に対する水分制限

第4章 進行がん患者の症状緩和・終末期ケア

1. 痛み……………林 章敏 162 (2110)
1. 痛みへの対応の基本
 2. がん患者の痛みの評価
 3. 痛みへの対応
 4. 薬物療法
 5. 非薬物療法
 6. 痛みの再評価
- Advanced Lecture
2. 気持ちのつらさ（不安・抑うつ）……………藤澤大介, 阿部晃子 172 (2120)
1. 疫学
 2. 症状
 3. 「温かい対応+アセスメント」が基本
 4. 不安・抑うつの治療
- Advanced Lecture：「正常範囲の不安・抑うつ」と「精神・心理的専門治療が必要な病態」の見分け方
3. 食欲不振……………三輪 聖, 森 雅紀 180 (2128)
1. がん患者における食欲不振
 2. 食欲不振の治療
4. せん妄……………西 智弘 186 (2134)
1. せん妄を治療すべき理由
 2. せん妄の診断と分類
 3. せん妄の原因
 4. せん妄に対する治療
- Advanced Lecture
5. がん患者の呼吸困難……………松田洋祐 192 (2140)
1. 呼吸困難の定義
 2. 呼吸困難の疫学
 3. 診断
 4. 治療方針
6. 臨死期の対応……………浅井泰行 203 (2151)
1. 終末期がん患者の予後予測
 2. 臨死期の症状とマネジメント
 3. 臨死期, 看取りの対応

第5章 がん患者や家族への心理的ケアと社会的ケア

- 1. がん患者や家族とのコミュニケーション ……………山田 祐 212 (2160)
 - 1. 基本的なコミュニケーション・スキル 2. がん診療における「悪い知らせ」 3. 日本人の意向調査に基づいたSHAREの開発 4. コミュニケーション・スキルの学習 5. さまざまな場面のコミュニケーション 6. 医師の共感について

- 2. 在宅緩和ケアのための退院支援 ……………松本明子 219 (2167)
 - 1. がん患者の在宅緩和ケアへの移行期支援の概要 2. 入退院支援の全体像 3. 移行期支援のステップごとの対応・注意点 4. 在宅緩和ケアで利用する制度 5. 在宅緩和ケアを支える多職種 6. 治療期からの在宅緩和ケア導入

- 索引 …………… 227 (2175)

- 執筆者一覧…………… 231 (2179)